

ICTによる地方創生の事例(広島県呉市)

レセプト・健診データの分析によるデータヘルスの取り組み支援
(ICTを活用した独自のレセプト分析技術による医療費適正化)

地方創生に資する
「地域情報化大賞」
部門賞受賞

(株)データホライゾン(広島県広島市)が、広島県呉市の医療費適正化や健康寿命の延伸といった課題に対処するため、レセプト(診療報酬明細書)データを独自のICT技術で分析し、効率的・効果的な保健事業(データヘルス)の実施に必要な情報を提供するサービスを実施

データホライゾン

呉市(保険者)

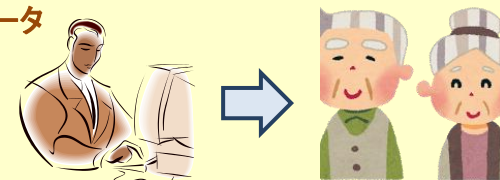
被保険者



①レセプトデータ

②情報サービス

③保健事業



- ・糖尿病性腎症重症化予防
- ・受診勧奨指導
- ・重複・頻回受診者指導
- ・ジェネリック医薬品利用促進通知等

ジェネリック医薬品への切替で医療費削減効果約1.5億円(H25年度)
糖尿病性腎症重症化予防で国保被保険者の透析移行遅延に貢献

医療費適正化と被保険者の健康増進に貢献

- ・ データを活用した保健事業により医療費の適正化を図る
- ・ 保健事業の実施に必要な人材(保健師・看護師など)の雇用創出に貢献
- ・ 被保険者の健康増進により健康寿命の延伸や生産年齢人口の確保に貢献
- ・ 呉市の保健事業が「データヘルス」のモデルケースとなり、全国の自治体へ横展開へ